

協会けんぽ加入企業版

協会けんぽとは、主に中小企業で働く従業員やその家族
約4,000万人が加入している日本最大の医療保険者です

健康経営を目指す 事業主さまへ

星総合病院 健診センター
ヘルスプロ おおまちからの
ご提案



すべての検査が“ここで”完結

快適な受診環境

スムーズな受診予約

信頼の専門スタッフによる充実したフォローアップ



hoshpital.jp

公益財団法人 星総合病院

HOSHI GENERAL HOSPITAL FOUNDATION

スキルを磨いた“人財”を失うことは 企業にとっての大きな損失です

従業員一人ひとりの健康を守ることは企業の未来を守ること

従業員が健康で働き続けることができる環境を整えることが、企業の競争力を高める鍵となります。ヘルスプロおおまちの健康診断サービスは、従業員一人ひとりのライフサイクルに寄り添ったサポートを提供し、長期的な健康管理を実現します。ぜひ、信頼の健康診断をお任せください。



今、「健康経営」が注目されています

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や組織としての価値向上が期待されます。(経済産業省HPより)

「健康経営」は、従業員や就職希望者からの安心・信頼、取引先や金融機関からの信用・評価を得て、ひいては地域・社会からの評価につながります。

“人財”を大切に思う事業主さまのお気持ちを、健康診断という目に見える形で
従業員の皆さんに伝えてみてはいかがでしょうか。



事業主負担を軽減しつつ、従業員の健康を守るために

事業主は労働安全衛生法により、雇入れ時および毎年、従業員に対して法定検査項目を含む定期健康診断を実施することが義務付けられています。企業負担は1人当たり約13,000円です。

ただし、**35歳以上の従業員の方**に関しては**協会けんぽ（全国健康保険協会）の補助制度***を活用して、**事業主負担を軽減**できます。

* 協会けんぽ（全国健康保険協会）では、生活習慣病の発症や重症化を予防するため、35歳以上の方を対象に、生活習慣病予防健診（法定検査項目を含み、これに上部消化管検査などを追加したもの）には一定の補助制度を設けています。

法律で定められた定期健康診断項目

表1	法定の検査項目	料金(税込)
定期健康診断	1 既往歴及び業務歴の調査	健診料金 12,342円 全額企業負担
	2 自覚症状及び他覚症状の有無の検査	
	3 身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査	
	4 胸部エックス線検査及び喀痰検査	
	5 血圧の測定	
	6 貧血検査（血色素量及び赤血球数）	
	7 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP）	
	8 血中脂質検査（LDLコレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセライド）	
	9 血糖検査	
	10 尿検査（尿中の糖及び蛋白の有無）	
	11 心電図検査	

(※料金はヘルスプロおおまちで受けた場合の金額で、施設により異なることがあります。)

35歳以上が受けられる生活習慣病予防健診項目

	検査項目	料金(税込)
生活習慣病予防健診	1 既往歴及び業務歴の調査	健診料金 ① 18,865円 協会けんぽ補助額 ② 13,583円 企業負担額 ①-② = 5,282円
	2 自覚症状及び他覚症状の有無の検査	
	3 身長、体重、腹囲、視力及び聴力の検査	
	4 胸部エックス線検査及び喀痰検査	
	5 血圧の測定	
	6 貧血検査（血色素量及び赤血球数）	
	7 肝機能検査（GOT、GPT、γ-GTP、ALP）	
	8 血中脂質検査（LDLコレステロール、HDLコレステロール、血清トリグリセライド）	
	9 腎機能（クレアチニン、e-GFR）	
	10 尿酸(UA)	
	11 血糖検査	
	12 尿検査（尿中の糖及び蛋白の有無、潜血）	
	13 心電図検査	
	14 上部消化管検査	

【35歳未満の方の健診について】※ 協会けんぽからの補助は35歳以上に限られております。当健診センターでは、定期健康診断の法定検査項目(上記表1)に加え、将来の健康リスクに対応した検査項目を含む「定期健診プレミアム」コース(内容の詳細は裏面)をご用意しております。

さらに、健康状態をより詳しく知るための
健診コースをご用意しました。



「生活習慣病予防健診プレミアム」のご案内

当健診センターでは、**35歳以上の従業員の方**に向けたさらに詳しい検査として、協会けんぽの補助制度を活用した、「生活習慣病予防健診プレミアム」コースをご用意。

こちらのコースは、従業員一人ひとりの健康状態をより詳しく把握することにより、**人財を守り、企業の未来を守る**ことにつながるものです。

「生活習慣病予防健診プレミアム」で追加となる検査のご紹介

例えば**腹部超音波検査**では、胃・腸以外の各臓器の腫瘍性の病気、脂肪肝、胆嚢ポリープ、胆石、腎のう胞、腎結石、尿管・膀胱結石、前立腺肥大、子宮筋腫、卵巣のう腫といった、さまざまな病気・疾患の有無をリアルタイムに確認することができます。こうした病気は、初期には目立った症状がないことも多いため、定期的なチェックが有用です。

【対象となる健診コース】

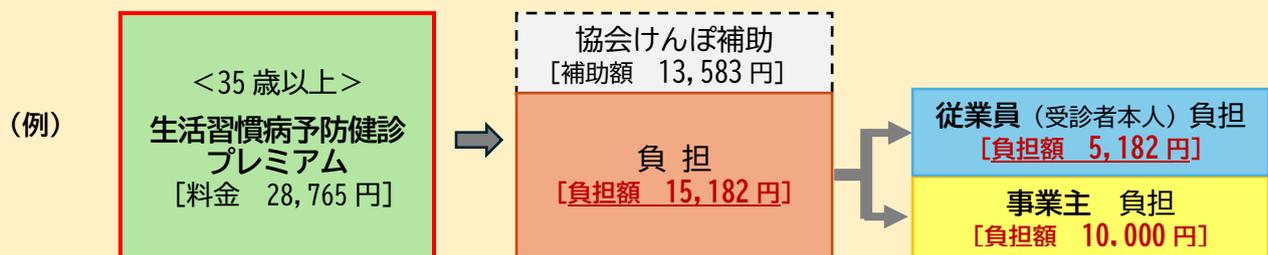
健診コース	対象者	検査内容	健診料金 (税込)	協会けんぽ 補助額	★負担額	差額	
生活習慣病予防健診 保健師おすすめ	35歳～74歳の方	基本項目 (心電図・胃部レントゲン※1等)	18,865	13,583	[1] 5,282	-	
生活習慣病予防健診 プレミアム	35歳～74歳の方	基本項目 (心電図・胃部レントゲン※1等) +腹部超音波・歯科検診	28,765	13,583	[2] 15,182	[2] - [1] +9,900	
生活習慣病 予防健診+	乳がん検診 40歳～74歳の偶数年齢の 女性の方 (隔年)	乳房X線 検査	40～50歳未満 50歳以上	5,621 3,619	4,047 2,606	1,574 1,013	-
		子宮頸がん検診 36歳～74歳の偶数年齢の 女性の方 (隔年)	細胞診・経膈超音波検査	3,463	2,493	970	-
人間ドック	40・45・50・55・60・ 65・70歳の方	基本項目 (心電図・胃部レントゲン※1等) +眼底・眼圧検査・詳細血液検査	50,776	20,497 ※2	[3] 30,279	[3] - [1] +24,997	
	35歳～74歳の方 (上記以外の年齢の方)	肺機能検査・腹部超音波 歯科検診・保健師面談		13,583	[4] 37,193	[4] - [1] +31,911	

※1 胃部レントゲンを内視鏡(胃カメラ)へ変更した場合、負担額に3,850円(税込)が加算されます。

※2 40・45・50・55・60・65・70歳時においては、「生活習慣病予防健診」の検査項目に腹部超音波検査など指定の検査を追加することで、協会けんぽによる補助額が増額されます。

★負担額について

企業は、法律(労働安全衛生法)により従業員に健康診断(法定検査項目)を実施する義務があり、その費用は全額事業主負担となります。ただし、**詳しく調べるための検査やオプション項目の負担を従業員(受診者本人)と按分することも可能**です。当健診センターでは企業内で決めた負担割合にそって、ご請求先を分けることができます。



★健康診断内容を法定検査項目に限っても5,282円は事業主負担です。

協会けんぽ加入団体 健診コース 検査項目一覧

		[35歳～74歳] 協会けんぽ補助対象			[35歳未満]		
		人間ドック	生活習慣病 予防健診 プレミアム	生活習慣病 予防健診	定期健診 プレミアム	定期健診	
診察等	問診・診察	●	●	●	●	●	
	医師による当日結果説明	●					
	保健師面談	●					
測定	身体測定 身長・体重・腹囲・肥満度・BMI	●	●	●	●	●	
	血圧	●	●	●	●	●	
	心電図・心拍数	●	●	●	●	●	
	視力・聴力	●	●	●	●	●	
	眼底	●					
	眼圧	●					
	肺機能	●					
胸部 X 線		●	●	●	●	●	
上部消化管検査 X 線(胃バリウム) / 内視鏡(胃カメラ) ※		●	●	●			
腹部超音波		●	●				
血液 生化学	肝機能	AST (GOT)・ALT (GPT)・γ-GTP	●	●	●	●	
		ALP	●	●	●		
		総ビリルビン (T-Bil)・総蛋白 (TP)	●				
		アルブミン (ALB)・LDH・A/G 比	●				
	膵機能	血清アミラーゼ (AMY)	●				
	脂質	総コレステロール (TC)・中性脂肪 (TG)	●	●	●	●	
		HDL コレステロール・LDL コレステロール non-HDL コレステロール	●	●	●	●	
	腎機能	クレアチニン・e-GFR	●	●	●		
		尿素窒素	●	●	●		
	痛風	尿酸 (UA)	●	●	●		
	糖代謝	空腹時血糖	●	●	●	●	
		HbA1c	●	●	●	●	
	血球系	赤血球 (RBC)・白血球 (WBC)・色素 (Hb)	●	●	●	●	
ヘマトクリット (Ht)・血小板		●	●	●	●		
血液像		●					
	MCH・MCV・MCHC	●					
免疫・血清	CRP・HBs 抗原	●					
血液型	ABO Rh	●					
尿検査	蛋白・糖	●	●	●	●		
	潜血	●	●	●	●		
	沈渣	●					
	PH・比重・尿中アミラーゼ	●					
便検査	便潜血	●	●	●			
歯科検診	虫歯・歯周病・唾液検査による口腔チェック	●	●				
ご負担額 (税込) [料金 (税込)]		¥37,193 [¥50,776]	¥15,182 [¥28,765]	¥5,282 [¥18,865]	¥18,282 [¥18,282]	¥12,342 [¥12,342]	

※ 内視鏡(胃カメラ)希望の場合 追加料金 3,850 円(税込)

オプション検査項目

検査名	料金 (税別)
婦人科	
マンモグラフィ検査	7,645 円(6,950 円)
乳腺超音波(エコー)検査	6,050 円(5,500 円)
子宮頸がん検査	8,800 円(8,000 円)
腹部超音波(エコー)検査	5,500 円(5,000 円)
骨密度測定検査	4,950 円(4,500 円)
内臓脂肪検査(ファットスキャン)	3,300 円(3,000 円)
HbA1c 検査(糖尿病)	1,100 円(1,000 円)
動脈硬化測定検査	2,750 円(2,500 円)

検査名	料金 (税別)
感染症	
エイズ検査	2,090 円(1,900 円)
B 型肝炎検査 (HBs 抗原・抗体)	2,200 円(2,000 円)
C 型肝炎検査	2,750 円(2,500 円)
ピロリ菌	
ピロリ菌抗体検査	880 円 (800 円)
ABC 検査	3,300 円(3,000 円)
腫瘍 マーカー	
PSA (前立腺がん)	3,300 円(3,000 円)
AFP (肝がん・肝臓疾患)	2,475 円(2,250 円)
CEA (消化器系・肺がん・乳がん)	2,475 円(2,250 円)
CA19-9 (消化器がん・肺がん)	3,245 円(2,950 円)

※ 健康診断にかかる費用は以下の条件に当てはまる場合、**福利厚生費として認められ非課税**となります。

- ・ 従業員全員に健康診断を受ける権利がある場合(ただし、従業員の年齢によって必要な健康診断を指定することは可能)。
- ・ 健康診断にかかった費用を企業が医療機関に直接支払っている場合。
- ・ 1 人の健康診断にかかる費用が常識の範囲内である場合(税務署が実態に合わせて判断することになります)。